

北九州 市議会だより



NO.197

平成24年4月15日号
(年4回発行)

編集・発行
北九州市議会事務局総務課
TEL582-2621 FAX582-2685



環境未来都市
北九州

◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会議の「会議録」「インターネット中継」などがご覧いただけます。
アドレスは<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>です。

平成24年度 の予算案を 可決!!

平成24年2月定例会が2月23日から3月23日までの30日間の会期で開かれました。

市長から69件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案について原案のとおり決定しました。

また、議員から提出された議案は14件で、うち11件を可決しました。

主な内容	1～3面	本会議での質疑と答弁
	4面	予算特別委員会(市長質疑)での質疑と答弁
		可決した意見書・決議
		請願・陳情の審議結果
		常任委員会の主な活動状況
	議会報告会開催のお知らせ など	



旧古河鉱業若松ビル

本会議での質疑と答弁

本会議での質疑と答弁は、要約したものを掲載しています。詳細は、5月下旬以降、各市立図書館において会議録でご覧いただけます。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも6月下旬頃から閲覧できます。

平成24年度予算案 について

議員 市長は、平成24年度予算案を「環境未来都市創造元年予算」と位置づけ、環境未来都市・国際戦略総合特区関連事業や市制50周年事業などに増額配分しているが、予算案に込められた市長の思いと予算の特色について尋ねる。

市長 「環境未来都市」と「国際戦略総合特区」に選定されたことは、本市の景気や雇用を回復させる起爆剤になるものと考えている。平成24年度は選定のメリットを最大限活かし、環境を軸とした国際競争力のある産業の形成を進める「緑の成長戦略」を推進するとともに、子育て・教育、福祉・医療の拡充や安全・安心なまちづくりの推進などにも積極的に取り組むこととした。

また、環境未来都市・国際戦略総合特区の補助金や特別会計剰余金の活用などによる歳入の確保、事務事業の見直し、人員削減などによる歳出削減により捻出した約60億円の財源を重要な政策課題に充てる、選択と集中による予算配分とした。

本市を取り巻く経済・財政環境は、依然として厳しい状況だが、今後とも「緑の成長戦略」を加速させ、人によさしく元気なまちづくりの実現に全力で取り組んでいく。

PCB廃棄物処理事業 の延長に対する 本市の対応について

議員 本市で行われているPCB廃棄物処理事業は、平成27年3月で終了する予定であるが、国はこの事業の延長について検討していることを表明した。本市はどのように対応するのか。

環境局長 北九州PCB廃棄物処理事業は、平成16年12月に操業を開始して以来、PCBの外部への漏えい事故を起こすことなく安全かつ着実に処理が進められている。

国が設置したPCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会の試算によれば、現状のペースで処理を進めた場合、北九州事業所での処理完了時期は平成30年度とされており、これは法律に定める処理期限を超えるものである。

本市としては、検討内容が公表された後、国に対し、北九州事業所での処理を当初の計画どおり平成27年3月で完了するよう繰り返し強く申し入れを行っている。仮に、国から期限延長などの打診があった場合には、これまでの事業の総括や、計画どおりに事業が進まなかった理由などを聞いた上で、議会や市民の意見を十分聞きながら、慎重に対応していきたい。

(仮称)漫画ミュージアム 整備の進捗よく状況と 集客策について



(仮称) 漫画ミュージアムのイメージパース

議員 小倉駅新幹線口に整備している(仮称)漫画ミュージアムの進捗よく状況と、ミュージアムが入居するビルのテナント入居状況を尋ねる。また、新幹線口からの来訪者を誘導する仕組みについて見解を尋ねる。

市長 (仮称)漫画ミュージアムは、今年8月のオープンに向け、館内工事や展示物の製作、関連資料の収集などの準備を進めている。また、ミュージアムが入居するビルの入居率は、4月下旬には100%に達する見込みであるとの報告を受けている。

小倉駅新幹線口からミュージアムまで、来訪者をわかりやすく案内するための仕組みとしては、新幹線口のペDESTリアンデッキ上に、銀河鉄道999のキャラクターの等身大のモニュメントや、デジタル技術を活用したバーチャルモニュメントの設置等について検討している。

展示物の充実に加え、新幹線口のモニュメントなど、話題性の高い情報を全国へ発信することで、ミュージアムに多くの来訪者を呼び込み、にぎわいを創出することができるよう取り組んでいきたい。

本会議では、各会派から次の20人の議員が質疑を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 香月耕治(自由民主党)
- 世良俊明(ハートフル北九州)
- 赤松文雄(公明党)
- 石田康高(日本共産党)
- 成重正丈(公明党)
- 森本由美(ハートフル北九州)
- 野依謙介(日本共産党)
- 鷹木研一郎(自由民主党)
- 中山義雄(議員定数削減北九州)
- 山本真理(ふくおかネットワーク)
- 馬場一榮(ハートフル北九州)
- 上野照弘(自由民主党)
- 木村優一(公明党)
- 宮崎吉輝(市民の声)
- 井上真吾(日本共産党)
- 三宅まゆみ(ハートフル北九州)
- 西田一(自由民主党)
- 荒川徹(日本共産党)
- 木下幸子(公明党)
- 河田圭一郎(ハートフル北九州)